

小学校学童期の音楽教育の考察Ⅳ

— 幼児との導入方法の違いから —

The Consideration about the Music Education of School Children IV

— A Difference of Introduction between Children and Infants —

星野 英五 *Eigo Hoshino*

(人間発達学部)

I. 動機

本学附属幼稚園でコンピュータ表現活動を実施し16年目、小学校低中高学年を対象を広げて7年目を迎える。まだパソコンが珍しかった時代から、昨今では幼児も日常的にスマートフォンやタブレットを触ることのできる環境に移行してきている。このように著しく変化する子どもたちを取り巻く環境の中、「音楽する心や音楽づくりの発想」を育てる一助としてコンピュータの活用を考える。

音楽的能力を段階的に無理なく身に付けていくために、情報機器の活用の仕方を何年か模索してきた。情報機器活用を始めたばかりの当初は、子どもの内から情報機器に触れることの危険性ばかりを耳にし、メディアにおいても活動を遠ざける教育者の声が多く聞こえてきた。しかし、現代では子ども達にとって情報機器は急速に身近なものになってきており、幼少期から情報機器をいかに使っていくかという問題は避けては通れない。

平成29年3月告示された小学校学習指導要領のポイントでは、情報活動能力（プログラミング教育を含む）として各教科で、コンピュータ等活用した学習活動の充実をあげている。一方幼稚園教育要領でも、「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を明確化し、その中で「豊かな感性と表現」を重要事項としている。

さらに、指導計画の作成上の留意事項として、「幼児期は直接的な体験が重要であることを踏まえ、視聴覚教材やコンピュータなど情報機器を活用する際には、幼稚園生活では得難い体験を補完するなど、幼児の体験との関連を考慮すること」としている。

新小学校学習指導要領音楽科では、「音楽づくりについて、即興的に表現することを通して、音楽づくりの様々な発想を得ること。音を音楽へと構成することを通して、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもつこと。」としている。

今までの研究から、情報機器を活用した音楽づくりという表現活動を開始するには小学校4学年からが適当であり、指導援助者が子どもの気持ちを共有し楽しみ活動することで、情報機器が音楽教育につながるものとする。本活動の音楽づくりへの道筋を発達段階に応じ工夫することで幼稚園年長児や小学校低学年の音楽教育に貢献できるということ

が分かる (星野, 2014)。幼稚園年長児は形ある音楽づくりまで到達できないが一つの作品を生き生きと作成でき、遊びの中から生まれる自由な発想を大切にすることによって音で自己表現できる土台作りの時期であることが分かる (星野, 2014)。

今回は幼児への導入方法と小学校高学年への導入方法を変えてみることで、音楽教育の「音楽する心」と「発想」をさらに引き出すことができる表現活動を考える。幼稚園児には言葉連想マップから感性と想像性を引き出し作品制作を試みる。小学校5年生には音楽学習領域を加味し、幾つかのメロディー動機を提示し、音選び・作曲・楽譜作成・お話作りと活動を進め、それぞれの年齢に即したコンピュータを使用した音楽表現活動を考える。

Ⅱ. 研究方法

対象：A群＝附属クリエ幼稚園年長児7名（男児4名・女児3名）

B群＝愛知教育大学附属岡崎小学校5年生7名（男児5名・女児2名）

時期：A群＝2016年2月 B群＝2016年1月・2月

場所：A群＝名古屋芸術大学1号館505・506教室

B群＝愛知教育大学附属岡崎小学校内

実施回数と実施時期＝5回各50分

援助者：ゼミナール担当学生＝3名～5名

使用ソフト：A群＝Protools・Kidpix・XTREAMFX (Macintosh & Windows)

B群＝Protools・Finale・Kidpix・XTREAMFX (Macintosh)

Ⅲ. 活動内容

【第1回】

A群：[はなび][しんかんせん][みずあそび][おはなばたけ][えんそく][おさんぽ][ゆき][かいじゅうごっこ][あめ][ひこうき]をテーマとした言葉連想マップを用意しその中の1枚を選択させ、関連した四つの言葉を想像させる。操作全般に関して初回から「自分の家のパソコンと同じ」という安心感があるのか、全く機器に対して臆することがない。Kidpixを使って「鉛筆で絵を描くよう」に指示を与えると援助者を頼る場面もあるが、子ども同士が共同して操作を楽しむ姿勢がみえる。

B群：すぐ音楽活動に入る。楽しくキーボード操作を行うが個人差が大きい。テレビのBGMを例に、音楽と感情表現の関係を説明する。各自、喜怒哀楽に照らしProtoolsを使ってバイオリンの音・フルートの音・雨の音・嵐の音・風の音・宇宙人の足音・海の波音などの音選びをする。

例として、「ドラマやアニメの様々な場面で音楽の力を借りている。何も音楽がないと、これから起こることや、登場人物がどんな気持ちか分からないが、音楽があ

ることによりセリフがなくても登場人物の気持ちなどが伝わってくることを挙げると頷き、音楽の大切さを理解する力があることが分かる。

【第2回】

A群：男児H [はなび]、男児T [しんかんせん]、男児S [みずあそび]、女児M [おはなばたけ]、女児K [えんそく]、女児R [おさんぼ]、女児A [ゆき] を選択する。各ワードから連想する言葉に男女の差が表れる。

パソコンの操作にさらに慣れるために自分の顔写真を使った変身遊びを行う。活き活きと Kidpix の機能を使いこなし、楽しんでいる。

B群：人間の感情の代表的なもの6種類（喜・怒・哀・楽・愛・憎）、併せて（喜び・悲しみ・怒り・諦め・驚き・嫌悪・恐怖）を挙げる。

あらかじめ提示した4拍子と3拍子からなる長・短調10種から好きなメロディー動機を選び8小節の曲を作る。作った曲を第1回目で選んだ音にのせる。

【第3回】

A群：男児H 【はなび】 から [おとがすき][はやい][いろがいっぱい][おとがおおきい] を連想する。男児T 【しんかんせん】 から [しろい][はやい][さんかくのちょっとまるい] を連想する。男児S 【みずあそび】 から [つめたい][きもちいい][だいきらい][たのしい] を連想する。女児M 【おはなばたけ】 から [きれい][まーがれつと][にじ][おべんとう] を連想する。女児K 【えんそく】 から [おにぎり][おべんとう][しーと][たのしい] を連想する。女児R 【おさんぼ】 から [たのしい][あったかい][きれい][すずしい] を連想する。女児A 【ゆき】 から [ゆきだるま][しろい][つめたい][ゆきがっせん] を連想する。Protools で様々な音を体験する。

B群：それぞれの感情を表すならどの音が適しているか Protools を使って音選びをし、リズムのみで表してから次に音程をつける。8小節の曲を作る上で、2小節の動機が5・6小節目を同じにすることで曲が成り立つことを説明する。

Protools での長調の曲はすぐにできる。次の作業としての Finale を使い楽譜を作ることは女児が得意である。男児は楽譜作成が苦手だが、個性的なメロディーや奇抜なメロディーを作ることに熱中しお互いに競い合う。

【第4回】

A群：各自が連想した言葉から幾つかの好みの音色を選び既存のメロディーに捉われない作品を作る。リズム、和音進行に縛られない方が斬新な作品ができる。言葉連想マップで選んだテーマを表現しようとするが音楽的な基本構成に至る作品は作れない。集中力が切れたり思い通りにならないとお稽古事や行事の曲など既存の曲に頼ってしまう。

B群：長調と短調の説明をする。長調は喜怒哀楽の中でどれにあたるのか、短調はどうなるのかを連想させる。アニメ番組やドラマにあるバックミュージックを思い出さ

せ、例えばこれから恐いことがありそうな時は「何かがおこるぞ」という想像力を高めてから音の種類(音色)を説明する。それぞれの子供が感情にあったメロディー作りをし、音選びを Protools で行い、さらに XTREAMFX を使い効果音のリズムによっても音楽が変わっていくことを体験させる。

【第5回】

A群：自分の音楽作品に沿って描画活動を行い楽しんでいる。楽譜を基にした系統的な音楽活動にまでは発展しないが、「またやりたい」「楽しかった」「嬉しかった」等の感想を書く。音楽を楽しいものと捉え、思いを音にしようとする姿勢が伺える。

B群：8小節の長調と短調の曲を1～2曲作る。作った曲にあった題名と物語を考える。
男児Y[地の大王様]…地上の真下の地ごくの大王はとてもいかっていました。その理由は食べものが無かったから。

[神がまいおりのしゅん間]…遠い昔、貧しい国があった。その国の住民は食べ物もなく農業や職業がなかったのです。その時、神がまいおりに来ました。

男児T[流れ星の落下そしてふっかつ]…星空から小さなてんが見えました。みるまにそれは大きくなってきて、ついに地球におちそうになったとき、流れ星は再び空にまい上がりました。

女兒E[ハーモニカの町]…ある日、目をさましたらある町にいました。ハーモニカをふいていたおじさんの曲を変えて作りました。

[ゆかいな楽園]…ある日起きたら目の前に楽器が置いてありました。鉄きんで曲を作りました。たくさんある中の鉄きんを選びました。

女兒S[おふろ!!]…おふろの中でひびいている。すいこまれないようにがんばっている！
[花がいきかえった]…ある町のお花がしぼんでしまいました。そこへ音楽隊が来て、さわやかな音楽をお花たちにきかせた時、しぼんでいる花がひらいてきた。

女兒M[Chinese festival]…ハロウィンでながれている音楽

女兒N[にぎやかなよる]…ある夜、へいたいたちが音楽をひきながら町をまわっていました。町の人は外にでてへいたいたちを見ていました。

[うちゅうじん]…ある日、うちゅうじんがやってきて、少したったら帰っちゃった～。

女兒Y[天使の合唱団]…今日は、天国のお城のパーティー♪王女様の誕生日プレゼントに、天使の合唱団が、綺麗な声で歌いだします♡

曲を完成した児童はお互いに鑑賞し合う。

女兒は物語作成に集中する時間は短いが適格に想像力を発揮できる。男児は納得のいく物語作成に時間がかかる。良い作品に仕上げたいという高い意識を男女とも持つ。

Ⅳ. 各群の比較

1. 音楽作り

〈音選び〉

A群；男児女兒に関わらず音選びには援助を必要とする。援助者の未熟さもあり自分のイメージをうまく表現するには至らない。

B群；自分だけの音を追求する意識が高くお互いに選んだ音を確かめ合う。

〈メロディー〉

A群；作ったメロディーに奇抜なものが多く、拍子感や音楽としてまとまりはないが独創的であり面白い。

B群；メロディーに想像力を発揮し、自分の思いをこめることができる。想像力と創造力を発揮し、まとまりのある作品ができる。さらに長調と短調のメロディーの特徴を理解し物語を作ることもできる。

2. 理解度

A群；描画活動を含めた音楽活動をお互いに共有しながら遊びの中の活動として楽しんでいる。

B群；与えられた動機を自分なりにうまく吸収し曲の構成を考えメロディーを作りテーマと物語をつなげて表現できる。個性豊かな作品を競い合って作ろうとする。

Ⅳ. 考察と今後の方向

新しい学習指導要領では、情報機器を音楽教育に活用することが期待されていると考える。これは幼稚園においても基本的な考え方は共通しているはずである。

幼児教育は小学校の音楽教育の先取りをするものではないが、年齢が上がるにつれ減っていく想像性を幼児は持っている。この豊かな想像性を失わないよう保育の現場では一人ひとりの音楽的素養を大切に、身近な音や自然の中の音に関心を持ち、音に対して鈍感にならないよう日々の活動を行うことが望ましいと考える。小学校低学年・中学年・高学年と年齢が上がっても音に対する気持ちは継続し、音楽という形あるものに発展していくことが望ましい。

今回新しい試みとして、A群は言葉連想マップを活用し、テーマから四つの言葉を連想させることからスタートした。このことで幼児が指導者の期待以上に興味を持ち、音楽を作ろうとする意欲ができた。

今回は、導入方法を変えることで幼児の想像力を引き出せ、情報機器を活用した音楽作

りを楽しんで行うことができた。楽譜にするような作品作りはできないが、幼児の自由な発想はこの年齢ならではの大切な特性である。

B群は教科としての音楽と捉えるのではなく、コンピュータを介し音楽と感情の密接な関係を感じ取り「音楽する」活動を体験することで豊かな心情を育みたい。主体的に音楽に関り、共同して音楽活動をする楽しさを味わうには指導者の導入方法如何によるところが大きい。長調だけでなく、短調に挑戦できる意欲を持つ導入ができたことは、豊かな感情表現の観点からも評価したい。

本活動を通し、様々な年齢の子どもの発達段階への学生の理解が深まる。また、時代に即した子どもの音楽創作活動の援助の方法の模索につながると考える。今後、小学校音楽科でのプログラミング教育について学生の理解を深め、幼稚園児にも得難い体験をさせる機会を増やし、小学校学童期につながる時代に即した音楽教育ができる学生を育てていきたい。

引用文献

星野英五 2014「小学校学童期の音楽教育の考察Ⅲ—幼児と小学校中学年の情報機器を活用した音楽活動を通して—」名古屋芸術大学研究紀要第35巻 pp. 331-340

星野英五 2017「子どもの情報機器の取り組み方の変化Ⅵ」日本保育学会第70回発表論文集 ID PD-14-12

参考文献

小学校学習指導要領解説音楽科29年3月31日告示 文部科学省

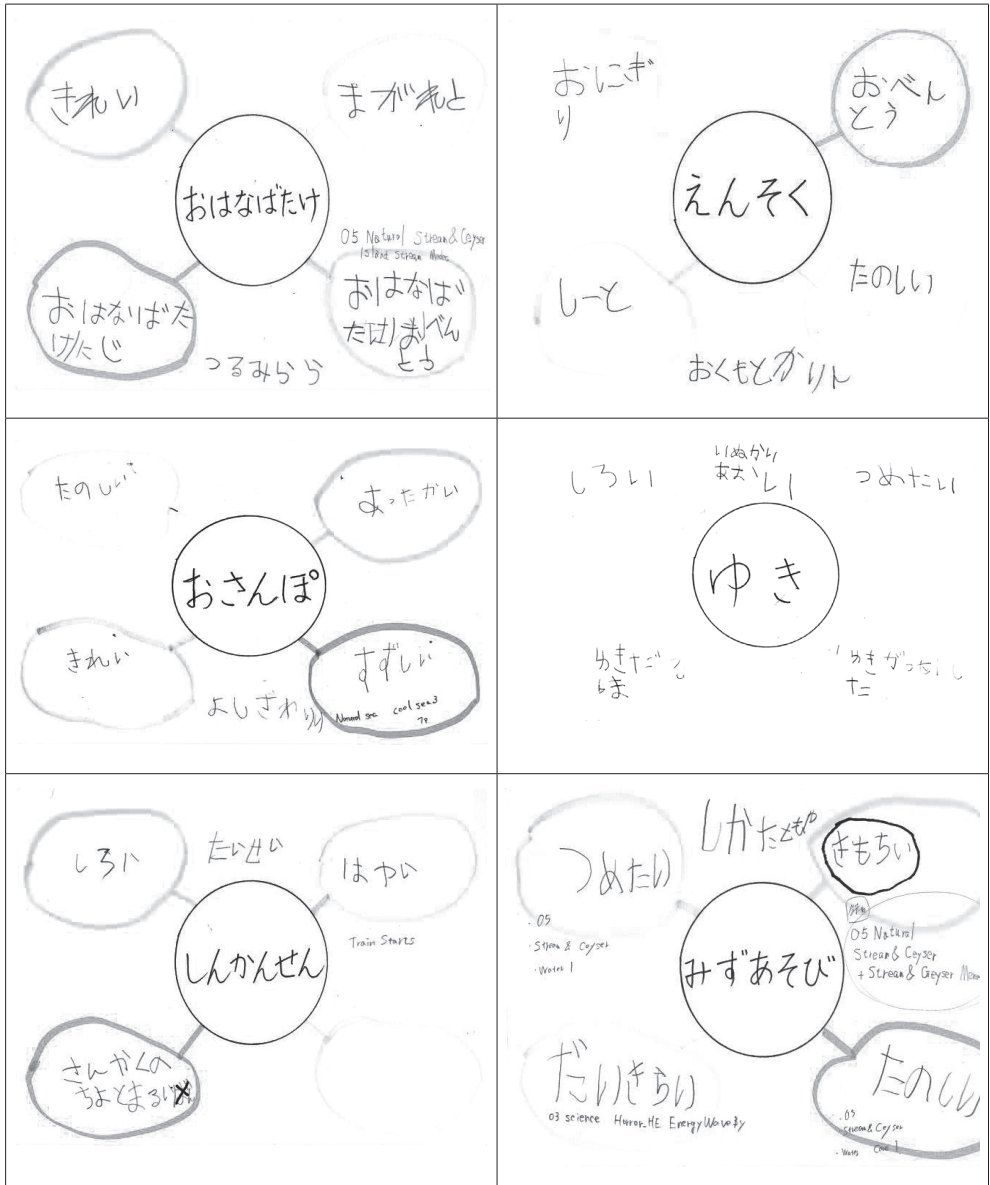
「ここがポイント3法令ガイドブック」無藤隆 汐見稔幸 他 フレーベル館

追記

本稿は、日本保育学会第70回大会発表論文集「子どもの情報機器の取り組み方の変化Ⅵ」を転載・改稿したものである。

研究にご協力くださった名古屋芸術大学附属クリエ幼稚園と愛知教育大学岡崎附属小学校の先生方や子どもたちに心から感謝いたします。

A群【言葉連想マップ】



	<p style="text-align: center;">地ごくの大王様 男児 Y</p> <p style="text-align: center;">地上の真下の地ごくの大王はともいってました。 その理由は、食べものが無かったから。</p>
<p style="text-align: center;">流れ星の落下そしてふっかつ 男児 T</p> <p style="text-align: center;">星空から小さなてんが見えました。 みるまにそれは大きくなってきて、 ついに地球におちそうになったとき、 流れ星は再び空にまい上がりました。</p>	<p style="text-align: center;">花がいきかえった 女児 S</p> <p style="text-align: center;">ある町のお花がしぼんでしまいました。 そこへ音楽隊が来て、さわやかな音楽をお花たちにきかせた時、 しぼんでいる花がひらいてきた。</p>
<p style="text-align: center;">神がまいおりるしゅん間 男児 Y</p> <p style="text-align: center;">遠い昔、貧しい国があった。その国の住民は食べ物もなく農耕や職能がなかったのです。 その時、神がまいおりて来ました。</p>	<p style="text-align: center;">ハーモニカの町 女児 E</p> <p style="text-align: center;">ある日、目をさましたらある町にいました。 ハーモニカをふいていたおじさんの曲を変えて作りました。</p>

<p style="text-align: center;">Chinese festival 女児M</p>  <p style="text-align: center;">ハロウィンでながれている音楽</p>	<p style="text-align: center;">にぎやかなよる 女児N</p>  <p style="text-align: center;">ある夜、へいたいたちが音楽をひきながら町をまわっていました。 町の人は外にいでてへいたいたちを見ていました。</p>
<p style="text-align: center;">天使の合唱団 女児Y</p>  <p style="text-align: center;">今日は、天国のお城のパーティー♪ 王女様の誕生日プレゼントに、天使の合唱団が、 綺麗な声で歌い出します♡</p>	<p style="text-align: center;">おふろ！！ 女児S</p>  <p style="text-align: center;">おふろの中でひびいている。 すいこまれないようにがんばっている！！</p>
<p>A 群</p> 	<p>B 群</p> 